

旧デジタル田園都市国家構想交付金活用報告 (新しい地方経済・生活環境創生交付金活用報告)

まち・ひと・しごと
創生総合戦略推進懇談会

交付金の概要

地域課題の解決や魅力向上に資するよう、他の地域で確立された優良なデジタルサービスを迅速に導入・実装する取り組みを支援する交付金。

活用事業概要①

ガイダンスに沿って番号を押すと、自動音声が必要な案内を行ったり、SMSを送信することで問い合わせに対応し、繁忙期の電話混雑などの課題の解消を目指す。

■ 概要

事業名	AIを利用した電話応答自動化事業 https://raida.go.jp/digitaldenen/13/132055
-----	---

総事業費	2,792,000円
------	------------

実績・成果（2025年度）

〔案内できる手続き数〕

11 手続き

〔電話受付数〕

2,123 件

〔閉庁時間中の受付数〕

145 件

住民税、国民健康保険税を主管する部署で計11の手続きのガイダンスを用意し、2025年4月から2026年3月まで累計で2,123件の手続きを自動応答で対応した。その分窓口対応の時間などを増やすことが可能になった。

活用事業概要②

令和5年3月に青梅市地域公共交通計画を策定した。その目標の一つとして、デジタル化の活用による運行サービスの向上を掲げ、マイナンバーカードを活用した公共交通の利用促進を施策とした。また、マイナンバーカードの利活用は本市でも重点的に取り組んでいる。利用者、タクシー事業者、市職員が効率良く利用することができるよう、システムを実装する。

■ 概要

事業名	マイナンバーカードを利活用したデマンド相乗りタクシー運賃補助システム https://raida.go.jp/digitaldenen/13/132055
総事業費	27,143,000円

実績・成果（2025年度）

〔システム登録者数〕

6,125 人

〔タクシー実働率〕

71.9 %

〔1人あたり利用回数〕

3.6 回

高齢者等の交通弱者の外出機会創出するとともに、マイナンバーカードの活用促進のため、2025年11月から実施した。今後は、登録者および利用回数の向上に向けて、タクシー事業者の拡充などに取り組む予定。